

# ジェンダー研究センター彙報<平成9年度>

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

職名は発令時による

## 1. 人事関係

<運営委員会名簿> (括弧内は在任期間)

|                      |       |                            |
|----------------------|-------|----------------------------|
| ジェンダー研究<br>センター長 (併) | 利谷 信義 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 文教育学部長               | 平野由紀子 | (平成8年10月1日～<br>平成10年9月30日) |
| 理学部長                 | 石和 貞男 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 生活科学部長<br>兼家政学部長     | 小林 彰夫 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 人間文化研究科長             | 徳丸 吉彦 | (平成9年4月1日～<br>平成12年3月31日)  |
| 附属図書館長               | 大口勇次郎 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 文教育学部教授              | 天野 正子 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 理学部教授                | 室伏きみ子 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 生活科学部教授              | 田中 辰明 | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| 人間文化研究科教授            | 清水 碩  | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日) |
| ジェンダー研究<br>センター教授    | 原 ひろ子 | (平成8年5月11日～)               |
| ジェンダー研究<br>センター助教授   | 舘 かおる | (平成8年5月11日～)               |
| 事務局長                 | 橋本 幹夫 | (平成9年4月1日～<br>平成11年3月31日)  |

<スタッフ名簿> (括弧内は在任期間)

|                      |                                |                                         |
|----------------------|--------------------------------|-----------------------------------------|
| センター長 (併)<br>生活科学部教授 | 利谷 信義                          | (平成8年5月11日～<br>平成10年3月31日)              |
| 専任教授                 | 原 ひろ子                          | (平成8年5月11日～)                            |
| 専任助教授                | 舘 かおる                          | (平成8年5月11日～)                            |
| 外国人客員教授              | 金 在仁<br><small>キム ジェイン</small> | (韓国女性開発院教授)<br>(平成9年1月1日～<br>平成9年4月30日) |

Frances E. Olsen (フランセス・オルセン)  
(カリフォルニア大学ロスアンジェルス校  
法学研究科教授)

(平成9年5月6日～  
平成9年8月30日)

Bina Pradhan (ビーナ・プラダーン)  
(ネパール国立トリブヴァン大学教授)

(平成9年9月5日～  
平成9年12月20日)

Saskia E. Wieringa (サスキア・E・ヴィーリンハ)  
(オランダ国立社会科学研究所教授)

(平成10年1月6日～  
平成10年4月27日)

客員教授 (国内) 小林富久子 (早稲田大学教授)  
(平成9年4月1日～  
平成10年3月31日)

伊藤 るり (立教大学教授)  
(平成9年5月1日～  
平成10年1月31日)

研 究 員 (非常勤講師) 大澤 真理  
(東京大学社会科学研究所助教授)  
(平成9年4月1日～  
平成10年3月31日)

芦野由利子  
(日本家族計画連盟事務局次長)  
(平成9年4月1日～  
平成10年3月31日)

研究協力員 天野 正子  
(本学文教育学部教授)  
(平成9年4月1日～  
平成10年3月31日)

大口勇次郎  
(本学文教育学部教授) (同上)

亀井 理  
(本学理学部教授) (同上)

島田 淳子  
(本学生活科学部教授) (同上)

|                                                                               |      |             |                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|------------------------------------------------------------|
| 篠塚 英子<br>(本学生活科学部教授)                                                          | (同上) | 研究機関研究員     | 根村 直美<br>(平成9年4月1日～平成10年3月31日)                             |
| 大井 玄<br>(国立環境研究所副所長)                                                          | (同上) |             | 海妻 径子<br>(平成9年7月1日～平成10年3月31日)                             |
| サイキ<br>戈木クレイグヒル滋子<br>(東海大学助教授)                                                | (同上) |             | 石川 裕子<br>(平成9年11月1日～平成10年3月31日)                            |
| 鈴木 伸枝<br>(ハワイ大学大学院<br>博士課程 Ph. D.取得資格)                                        | (同上) | 研究支援推進員     | 川原ゆかり<br>(平成9年4月25日～平成9年3月31日)                             |
| 鈴木 陽子<br>(JICA 専門員)                                                           | (同上) |             | 村上みどり<br>(平成9年8月18日～平成10年3月31日)                            |
| 田澤 薫<br>(国際医療福祉大学<br>専任講師)                                                    | (同上) |             | 小山 直子<br>(平成9年9月1日～平成10年3月31日)                             |
| Tatiana Dahlgren (タチアナ・ダールグレン)<br>(ストックホルム大学大学院博士課程)<br>(平成9年4月15日～平成9年7月15日) |      | リサーチ・アシスタント | 鵜沢由美子<br>(平成9年6月1日～平成10年2月28日)                             |
| チヨン ミヨンスク<br>全 明淑<br>(元韓国建国大学校講師)<br>(平成9年4月15日～平成10年3月31日)                   |      | 教務補佐員       | 浅海 智子<br>(平成9年4月1日～平成10年3月31日)                             |
|                                                                               |      |             | 荻野 正恵<br>(同上)                                              |
|                                                                               |      |             | 片田江綾子<br>(同上)                                              |
|                                                                               |      |             | 造力 由美<br>(同上)                                              |
|                                                                               |      |             | 堀 千鶴子<br>(同上)                                              |
|                                                                               |      | <研修員等>      |                                                            |
| 柘植あづみ<br>(北海道医療大学専任講師)<br>(平成9年4月1日～平成10年3月31日)                               |      | 外国人研究員      | バク クムオク<br>朴 今玉<br>(韓国中央日報社編集委員)<br>(平成9年9月24日～平成10年9月23日) |
| 中山 道子<br>(元立教大学助教授)                                                           | (同上) | 公立大学研修員     | 松本(米田) 佐代子<br>(山梨県立女子短期大学教授)<br>(平成9年10月1日～平成10年3月31日)     |
| 西山千恵子<br>(東京国際大学非常勤講師)                                                        | (同上) |             |                                                            |
| Noll Ortega Tamiko (ノール・オルテガ・タミコ)<br>(ピッツバーグ大学大学院<br>博士課程 Ph. D.取得資格)         | (同上) |             |                                                            |
| 松浦 いね<br>(たばこ総合研究センター客員研究員)                                                   | (同上) |             |                                                            |
| 松田 久子<br>(元理化学研究所非常勤職員)                                                       | (同上) |             |                                                            |
| 村松 安子<br>(東京女子大学教授)                                                           | (同上) |             |                                                            |
| 山崎美和恵<br>(埼玉大学名誉教授)                                                           | (同上) |             |                                                            |
| 山本 禮子<br>(和洋女子大学教授)                                                           | (同上) |             |                                                            |

## 2. 会議関係

<運営委員会の開催>

平成9年4月11日／5月12日／5月30日(持回り)／6月24日／7月11日／8月7日(持回り)／9月11日／10月16日／11月20日／12月11日／平成10年1月22日／2月19日／3月18日

## 3. 研究調査活動

<センター研究プロジェクト>

I-1-1 「アジアにおける女性と開発」研究  
〔研究担当〕

サスキア・ヴィーリンハ(ジェンダー研究センター外国人客員教授・オランダ社会科学研究所教授)

## 2. 会議関係

＜運営委員会の開催＞

平成9年4月11日／5月12日／5月30日（持回り）／6月24日／7月11日／8月7日（持回り）／9月11日／10月16日／11月20日／12月11日／平成10年1月22日／2月19日／3月18日

### 3. 研究調查活動

### ＜センター研究プロジェクト＞

## I-1-1 「アジアにおける女性と開発」研究

[研究担当]

サスキア・ヴィーリンハ（ジェンダー研究センター外国人客員教授・オランダ社会科学研究所教授）

伊藤 るり (ジェンダー研究センター客員教授・立教大学教

授)

大澤 真理 (ジェンダー研究センター研究員・東京大学社会科学研究所助教授)

村松 安子 (ジェンダー研究センター研究協力員・東京女子大学教授)

鈴木 伸枝 (ジェンダー研究センター研究協力員・ハワイ大学大学院博士課程 Ph.D.取得資格)

鈴木 陽子 (ジェンダー研究センター研究協力員・JICA 専門員)

原 ひろ子 (ジェンダー研究センター教授)

館 かおる (ジェンダー研究センター助教授)

村上みどり (ジェンダー研究センター研究支援推進員)

#### 〔研究内容〕

サスキア・ヴィーリンハ教授が、平成10年3月24日(火)～3月25日(水)にわたり、ワークショップ「文化、アイデンティティ、セクシュアリティ―社会過程と開発との関連で―」を開催した。於：附属図書館第二会議室。参加者延べ30名。

3月24日(火)

Session 1 (14:00～16:30) “Measuring Gender Equality: A Critique on UNDP’s GDI and GEM”  
「ジェンダー平等を測定する―国連開発計画のジェンダー開発指数とジェンダーエンパワメント測定の批判」

Session 2 (18:30～20:00) “The Gender Equality Index: Women’s Empowerment in Japan”  
「ジェンダー平等指数―日本における女性のエンパワメント」

3月25日(水)

Session 3 (14:00～16:30) “The Gender Equality Index: Women’s Empowerment in Indonesia in Historical Context”  
「ジェンダー平等指数―歴史的な文脈にみるインドネシアの女性のエンパワメント」

Session 4 (18:30～20:00) “Women’s Empowerment and Autonomy of the Body: Transgender Practices Crossculturally, with a Focus on Japan”  
「女性のエンパワメントと身体の自律性―トランスジェンダー現状を比較文化的にみる(日本を中心に)」

#### I-2-1 「アジアにおけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する研究

##### 〔研究担当〕

ビーナ・プラダーン (ジェンダー研究センター外国人客員教授・ネパール国立トリブヴァン大学教授)

原 ひろ子 (ジェンダー研究センター教授)

芦野由利子 (ジェンダー研究センター研究員・日本家族計画連盟事務局次長)

大井 玄 (ジェンダー研究センター研究協力員・国立環境研究所副所長)

戈木クレイグヒル滋子 (ジェンダー研究センター研究協力員・東海大学助教授)

田澤 薫 (ジェンダー研究センター研究協力員・国際医療福祉大学専任講師)

柘植あづみ (ジェンダー研究センター研究協力員・北海道医療大学専任講師)

根村 直美 (ジェンダー研究センター研究機関研究員)

##### 〔研究内容〕

①ビーナ・プラダーン教授が、平成9年10月15日(火)～12月17日(水)にわたり、6回の夜間セミナー“Gender and Development”「ネパールにおける開発とジェンダー」を開催した。於：附属図書館第二会議室(18:00～21:00)。参加者延べ300名。

10月15日(水) “Role of Women in the Household Economy of Nepal: Inter-/Intra-Ethnic Variation”  
「ネパールの家庭経済における女性の役割：エスニックグループ内・間における多様性」

10月29日(水) “Newar Women of Bulu: An Analysis of Women’s Autonomy in the Kinship and Household Production System”  
「ブル村におけるネワール女性：親族と世帯単位の生産組織における女性の自立性」

11月12日(水) “Gender Issues in Development : 20 of women’s Experiences in Development in Nepal”  
「開発過程におけるジェンダー課題：ネパールにおける20年間の女性の経験」

11月26日(水) “Women’s Autonomy & Reproductive Health in Nepal”  
「ネパールにおける女性の主体性と性と生殖に関する研究(リプロダクティブヘルス)」

12月10日(水) “Socio-Cultural Perspective of Maternal Health in Nepal”  
「社会文化的に見たネパールにおける女性(妊産婦を含む)の健康」

12月17日(水) “Alternative Approach to Women’s Empowerment: Conceptualizing Methodological Framework for Gender Balanced Approach to Development” 「女性のエンパワーメント：ジェンダー均衡を旨とする開発に関する手法の枠組み」

②「ジェンダーと健康(GHS)研究会」を開催し、研究発表と成果報告について検討した。於：附属図書館第二会議室(18:00~21:00)。

4月18日(金) 高橋 都(東京大学大学院博士課程)

「日本の病院における乳癌患者の相互扶助行動」

6月6日(金) ミーティング「今後の研究活動・成果報告書の内容構成について」

7月4日(金) 〃

9月19日(金) 〃

10月24日(金) 根村 直美「論文『WHOの健康の定義』(ダニエル・キャラハン)を読む」

11月21日(金) 高橋 都(東京大学大学院博士課程)  
「WHOの歴史」

平成10年

1月23日(金) 根村 直美「Wrongful Life および Wrongful Birth 訴訟についての覚え書き」

2月17日(金) ミーティング 今後の研究活動・成果報告書の内容構成について

#### II-1-1 「映像表現とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

小林富久子(ジェンダー研究センター客員教授・早稲田大学教授)

館 かのる(ジェンダー研究センター助教授)

〔研究内容〕

「フェミニズムと現代思想／映像表現とジェンダー」の研究会を開催した。於：附属図書館第二会議室(13:00~17:00)。

5月20日(火)「プーナム・アローラ『第三世界の作品は欧米諸国においていかに消費されるのか？「サラーム・ボンベイ」と「パラマ」の比較分析』」について、村尾静二(千葉大学大学院修士課程)が報告。

6月24日(火) ミラ・ナイール監督『サラーム・ボンベイ』、『ミシシッピー・マサラ』ビデオ鑑賞およびディスカッション。

8月6日(水) デビット・リーチ監督『インドへの道』ビデオ鑑賞。「ローラ・E・ドナルドソンの『インドへの道——植民地主義と映画表象』」について、小林

富久子が解説。今後の研究会運営についてのディスカッション。

9月16日(火) 岩井俊二監督『スワロウテイル』ビデオ鑑賞。中島佐和子(お茶の水女子大学大学院博士課程)解説。アーロン・ジェロウ(横浜国立大学助教授)による映画批評。

10月28日(火) 侯孝賢<sup>ホウシャオシェン</sup>監督『好男好女』ビデオ鑑賞。桜井智之(早稲田大学大学院映画学修了)解説。

11月25日(火) フランク・キャブラ監督『袁<sup>イェン</sup>將軍の苦いお茶』ビデオ鑑賞。サラ・ティズリー(ジェンダー研究センター研究生)報告。

12月18日(火) 崔洋一監督『月はどっちに出ている』ビデオ鑑賞。磯山久美子(お茶の水女子大学大学院博士課程)による監督のプロフィール紹介。吉田俊実(東京工科大学助教授)による映画批評。

平成10年

1月30日(金) 小津安二郎監督『麦秋』ビデオ鑑賞。堀ひかり(学習院大学大学院博士課程)による「『麦秋』のレズビアニズムについて」の報告。

2月27日(金) 五所平之助監督『人生のお荷物』ビデオ鑑賞。ミツヨ・ワダ・マルシアーノ(アイオワ大学大学院・早稲田大学大学院)「松竹蒲田映画における“女性映画”の創造：『人生のお荷物(1935)その物語の読み替え』」の報告。

#### II-1-2 「公共芸術におけるジェンダー」

〔研究担当及び内容〕

西山千恵子(東京国際大学非常勤講師)が公共芸術とジェンダーに関する文献レビューを行なった。

#### II-2-1 「近世日本の女性と社会」

〔研究担当〕

大口勇次郎(ジェンダー研究センター研究協力員・文教育学部教授)

その他頼梅颯研究会メンバー

〔研究内容〕

頼梅颯日記についての研究。論文集の発行に向けての準備を行なった。各人の構想と草稿をもとに全体会を開催した。

#### III-1-1 「ジェンダー規範とその作用形態に関する研究」

〔研究担当〕

たばこ総合研究センターとの〈国内共同研究プロジェクト〉として推進。

館 かのる(ジェンダー研究センター助教授)

松浦 いね（ジェンダー研究センター研究協力員・たばこ総合研究センター客員研究員）

その他の「女性とたばこ」研究会メンバー

堀 千鶴子（ジェンダー研究センター教務補佐員・一橋大学大学院博士課程）

山崎 朋子（千葉大学大学院博士課程）

磯山久美子（本学大学院人間文化研究科博士課程）

中村 文（本学大学院人間文化研究科博士課程）

藤田 和美（本学大学院人間文化研究科博士課程）

サラ・ティズリー（ジェンダー研究センター研究生）

#### 〔研究内容〕

「女性とたばこ」研究会を「喫煙倫理とジェンダー」というテーマで開催した。於：附属図書館第二会議室。研究報告書としてたばこ総合研究センター／お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編『喫煙倫理とジェンダー』を刊行した。

平成9年4月14日（11：00～15：00）／8月1日（10：00～15：30）／10月30日（10：30～14：00）／11月29日（10：00～14：00）／12月19日（10：00～13：30）／平成10年1月29日（10：30～15：00）

### III-1-2 「植民地下朝鮮における女子中等教育の研究」

#### 〔研究担当〕

山本 禮子（ジェンダー研究センター研究協力員・和洋女子大学教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター助教授）

その他の高等学校研究会メンバー

新井 淑子（埼玉大学教授）

福田須美子（相模女子大学教授）

太田 孝子（岐阜大学助教授）

#### 〔研究内容〕

高等女学校研究会を開催した。於：ジェンダー研究センター長室。平成9年度は山本禮子教授、新井淑子教授が中心となり台湾の高等女学校に関する調査研究を行なった。

平成9年7月26日（土）（10：00～13：30）／10月18日（土）（10：00～13：30）、平成10年／1月20日（土）（10：00～16：30）／2月21日（土）（10：00～16：30）

### III-2-1 「日本社会のジェンダー観」に関する研究

#### 〔研究担当及び内容〕

タチアナ・ダールグレン（ストックホルム大学大学院博士課程）が、平塚らいてうとエレン・ケイのジェンダー観につい

て比較研究を行なった。

### III-2-2 「現代日本における『未婚』『独身』『シングル』『非婚』とジェンダー」に関する研究

#### 〔研究担当及び内容〕

ノール・オルテガ・タミコ（ピッツバーグ大学大学院博士課程 Ph. D.取得資格）が、日本の婚姻観にかかわる調査研究を行なった。

### IV-1-1 「大学教育とジェンダー」に関する研究

#### 〔研究担当〕

〈学内共同研究プロジェクト〉として、時限研究促進経費による研究組織を構成。

利谷 信義（研究代表者：ジェンダー研究センター長）

秋山 光文（本学文教育学部教授）

天野 正子（本学文教育学部教授）

宮尾 正樹（本学文教育学部助教授）

海老根静江（本学文教育学部教授）

上野 浩道（本学文教育学部教授）

粕川 正充（本学理学部助教授）

杉田 孝夫（本学生活科学部助教授）

原 ひろ子（ジェンダー研究センター教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター助教授）

石川 裕子（ジェンダー研究センター研究機関研究員）

海妻 径子（同上）

根村 直美（同上）

#### 〔研究内容〕

研究報告書としてジェンダー研究センター編『大学教育とジェンダーⅡ』を刊行した。

### IV-2-1 「科学研究者の環境に関する調査研究－男女比較を中心に－」

#### 〔研究担当〕

〈国内共同研究プロジェクト〉として文部省科学研究費による研究組織を構成。

原 ひろ子（研究代表者：ジェンダー研究センター教授）

浅倉むつ子（東京都立大学教授）

池田 裕恵（東洋英和女学院大学教授）

石井摩耶子（恵泉女学園大学教授）

一番ヶ瀬康子（長崎純心大学教授）

岩崎 芳枝（郡山女子大学教授）

大隅 正子（日本女子大学教授）

大野 凜（東京工業大学助教授）

垣本由紀子（鹿児島県立短期大学教授）

加藤春恵子（東京女子大学教授）  
木野内清子（大妻女子大学教授）  
玄番 央恵（関西医科大学教授）  
小島 操子（聖路加看護大学教授）  
島田 淳子（ジェンダー研究センター研究協力員・本学生活科学部教授）  
島村 礼子（津田塾大学教授）  
下村 道子（大妻女子大学教授）  
田端 光美（日本女子大学教授）  
土器屋由紀子（気象庁気象大学教授）  
鳥居 淳子（成城大学教授）  
直井 道子（東京学芸大学教授）  
永井 玲子（大阪大学名誉教授）  
丹羽 雅子（奈良女子大学学長・教授）  
馬場 房子（亜細亜大学教授）  
森島 啓子（国立遺伝学研究所教授）  
川原ゆかり（ジェンダー研究センター研究支援推進員）  
小山 直子（ジェンダー研究センター研究支援推進員）  
鶴沢由美子（ジェンダー研究センターリサーチ・アシスタント）

〔研究内容〕

『科学研究者の環境に関する調査研究－男女比較を中心に－』（課題番号08301023）平成8～9年度科学研究費補助金（基盤研究A（1））研究成果報告書を作成した。

IV-2-2 「女性と自然科学に関する研究」

〔研究担当〕

亀井 理（ジェンダー研究センター研究協力員・お茶の水女子大学理学部教授）  
松田 久子（ジェンダー研究センター研究協力員）  
山崎美和恵（ジェンダー研究センター研究協力員・埼玉大学名誉教授）  
館 かおる（ジェンダー研究センター助教授）

〔研究内容〕

湯浅年子の総合的研究を行い、目録作成作業を行なった。

IV-2-3 「法学とジェンダー」

〔研究担当〕

フランセス・オルセン（ジェンダー研究センター外国人客員教授、カルフォルニア大学ロスアンジェルス校法学研究科教授）  
利谷 信義（ジェンダー研究センター長）  
中山 道子（ジェンダー研究センター研究協力員）  
館 かおる（ジェンダー研究センター助教授）

原 ひろ子（ジェンダー研究センター教授）

〔研究内容〕

①7月11日（金）ジェンダー研究センター周年記念講演会を開催した。於：文教育学部棟大会議室（15：30～17：30）。参加者90名。

利谷 信義「日本における女性政策の動向」  
フランセス・オルセン “The Role of Legal Studies in Gender Studies” 「法にみるジェンダー」  
通訳：中山道子

②フランセス・オルセン教授が、6月11日（水）～7月9日（水）まで5回にわたって夜間セミナー “How Legal Studies Can Contribute to Gender Studies: Toward a Broader Understanding of Law” 「法研究はジェンダー研究にいかに関与できるか？より広い法理解に向けて」を開催した。於：附属図書館第二会議室。参加者延べ200名。

6月11日（水）“The Public-private Distinction: Law's Images of Society” 「公と私の区分：法の社会像」  
コメンテーター：中山 道子

（ジェンダー研究センター研究協力員）

6月17日（水）“Legal Equality for Women: An End to Protective Labour Law?” 「女性の法的平等：保護法の終焉」

コメンテーター：浅倉むつ子（東京都立大学教授）

6月25日（水）“Family Law: New Perspectives on the Homework Debate of the1950s” 「家族法：1950年代の家族労働をめぐる論争に関する新たな視点」

コメンテーター：棚村 政行（早稲田大学教授）

7月2日（水）“Human Rights and Women's Rights” 「人権と女性の権利」

コメンテーター：神長百合子（専修大学教授）

7月9日（水）“Sexual Rights, Reproductive Rights, and Protection Against Sexual Violence” 「性的権利とリプロダクティブ・ライツと性暴力に関する保護」

コメンテーター：角田由紀子（弁護士）

③7月24日（木）、25日（金）（10：00～17：00）にフランセス・オルセン教授が、ワークショップ “Academic Sexual Harassment: Combatting Sexual Exploitation in Academic Institutions” 「アカデミック・セクシュアル・ハラスメント：学術研究・教育機関における性的搾取への

取り組み」を2回開催した。於：附属図書館第二会議室。  
参加者延べ58名。

7月24日(木)“An Introduction to Issues in Academic Sexual Harassment: Lessons from Experiences in the United States”「アカデミック・セクシュアル・ハラスメントー理論的アプローチ」  
コメンテーター：武田万里子(金城学院大学助教授)、  
角田由紀子(弁護士)  
通訳：寺尾美子(東京大学教授)

7月25日(金)“Remedies for Sexual Harassment: Practical Problem”「アカデミック・セクシュアル・ハラスメントー実践的アプローチ」  
コメンテーター：渡辺 和子(京都産業大学教授)、  
戒能 民江(東邦学園短期大学教授)  
通訳：伊藤 るり  
(ジェンダー研究センター客員教授・立教大学教授)

#### V-1-1 「女性政策推進機構の研究」

〔研究担当〕

金<sup>キム</sup> ジェイン<sup>ジェイン</sup> (ジェンダー研究センター外国人客員教授・韓国女性開発院教授)  
館 かおる (ジェンダー研究センター助教授)

〔研究内容〕

平成9年4月12日(土)国際シンポジウム「女性政策の日韓比較研究」を開催した。於：文教育学部大会議室(13:30~17:00)。参加者延べ78名。

金<sup>キム</sup> ジェイン<sup>ジェイン</sup> (ジェンダー研究センター外国人客員教授・韓国女性開発院教授)

「韓国における女性政策の現局面ー女性発展基本法および放課後保育制度を中心にー」

韓<sup>ハン</sup> 明淑<sup>ミョンスク</sup> (梨花女子大学校アジア女性学センター研究員)

「韓国における性暴力特別法の制定と改正運動」

水野 順子 (アジア経済研究所研究員)

「韓国の社会経済発展と女性労働」

金<sup>キム</sup> フジヤ<sup>フジヤ</sup> (東京学芸大学大学院修士課程)

「日本の社会政策と慰安婦問題」

大澤 真理 (ジェンダー研究センター研究員・東京大学社会科学研究所助教授)

「日本における女性政策の現局面ー日韓比較の試みー」

#### V-1-2 「社会政策、社会保障制度とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

篠塚 英子 (本学生活科学部教授)

全<sup>チョン</sup> 明淑<sup>ミョンスク</sup> (ジェンダー研究センター研究協力員・元韓国建国大学講師)

〔研究内容〕

「日本の社会保障制度とジェンダー研究」に関する文献レビューを行なった。

#### V-2-1 「女性の国際ネットワーク活動」に関する研究

〔研究担当〕

原 ひろ子 (ジェンダー研究センター教授)

村上みどり (ジェンダー研究センター研究支援推進員)

〔研究内容〕

GO、NGOの連携の推進と国際ネットワークの情報を収集した。

#### VI-1-1 ジェンダー研究に関する文献・情報の総合的包括的収集及び提供システムの研究

〔研究担当〕

館 かおる (ジェンダー研究センター助教授)

小山 直子 (ジェンダー研究センター研究支援推進員)

鶴沢由美子 (ジェンダー研究センターリサーチ・アシスタント)

〔研究内容〕

ジェンダー研究に関する文献収集とともに、ジェンダー研究センターのホームページを作成した。鶴沢由美子が「専門職と女性」に関する文献目録を作成した。

#### VI-2-1 ジェンダー研究文献のカテゴリー化に関する研究

〔研究担当及び内容〕

館かおる助教授が「女性学とジェンダー研究」の概念成立にかかわる研究を行なった。

＜学内共同研究プロジェクト＞

①時限研究促進経費による〈学内共同研究プロジェクト〉として、「大学教育とジェンダーⅡ」の研究を行い、研究報告書を刊行した。(IV-1-1「大学教育とジェンダーに関する研究」参照)

②大学院人間文化研究科博士課程との共同研究プロジェクト「諸文化における女性の一生に関する研究会」を開催した。

〔研究担当〕

原 ひろ子（ジェンダー研究センター教授）

田中真砂子（本学教育学部教授）

本学大学院人間文化研究科博士課程学生

＜国内共同研究プロジェクト＞

①科学研究者の環境に関する調査研究（文部省科学研究費基盤研究（A））として「科学研究者の環境に関する調査研究－男女比較を中心に－」を行なった。（IV－2－1「科学研究者の環境に関する調査研究－男女比較を中心に－」参照）

②たばこ総合研究センターと共同研究を行い、研究報告書『喫煙倫理とジェンダー』を刊行した。（III－1－1「ジェンダー規範とその作用形態に関する調査研究」参照）

③国立民族学博物館地域研究企画交流センター（研究代表：押川文子）とジェンダー研究センター（研究代表：原ひろ子）との連携研究として、「地域社会の変化と女性」研究会を組織し、東アジア、南アジア、中東を中心とする研究報告を行なった。

＜国際共同研究＞

国立婦人教育会館との共同研究「アジアにおけるく開発と女性」に関する文化横断的調査研究（平成9年度文部省科学研究費補助金国際学術研究：研究代表者大野曜）におけるタイの研究分担者として原ひろ子がタイ調査等に参加し、報告書を作成した。

4. 研究交流・成果公表活動

＜公開研究会・講演会・シンポジウム＞

平成9年4月より平成10年3月の間の発表者及びその題目は次の通りである。（敬称略）

4月12日（土）国際シンポジウム「女性政策の日韓比較研究」

金 在任（ジェンダー研究センター外国員客員教授・韓国女性開発院教授）

「韓国における女性政策の現局面－女性発展基本法および放課後保育制度を中心に－」

韓 明淑（梨花女子大学校アジア女性学センター研究員）

「韓国における性暴力特別法の制定と改正運動」

水野 順子（アジア経済研究所研究員）

「韓国の社会経済発展と女性労働」

金 富子（東京学芸大学大学院修士課程）

「日本の社会政策と慰安婦問題」

大澤 真理（ジェンダー研究センター研究員・東京大学社会科学研究所助教授）

「日本における女性政策の現局面－日韓比較の試み－」

6月20日（金）月例研究会

マーガレット・サーキシアン（スミス・カレッジ助教授）“Gender Issues in Music”「音楽とジェンダー」

通訳：勝村 仁子（国立音楽大学非常勤講師）

7月11日（金）ジェンダー研究センター周年記念講演会

利谷 信義（ジェンダー研究センター長）「日本における女性政策の動向」

フランセス・オルセン（ジェンダー研究センター外国人客員教授・カリフォルニア大学ロスアンジェルス校教授）“The Role of Legal Studies in Gender Studies”「法にみるジェンダー」

通訳：中山 道子（ジェンダー研究センター研究協力員）

9月18日（木）月例研究会

イルゼ・レンツ（ボッフム大学教授・東京大学社会科学研究所客員教授）

“Feminism in International Perspective: The Meaning of the German and the Japanese Experience”「国際的視野から見たフェミニズム－日独の経験の意味するもの」

9月27日（土）ラウンドテーブル・ディスカッション

ビーナ・プラダーン（ネパール国立トリブヴァン大学教授）“Current Situation of Women and Women's Policy in the Republic of Maldives”

「モルディブ共和国における女性の現状と女性政策」

11月1日（土）国際シンポジウム「技術とジェンダー」

バーバラ・ラザルス（カーネギー・メロン大学教授）“Women in Science and Engineering in the United States”「自然科学・工学の分野で活躍する女性たち－米国の事例から－」

村松 安子（ジェンダー研究センター研究協力員・東京女子大学教授）「技術は、女性のエンパワーメントに資するか？」

ビーナ・プラダーン（ネパール国立トリブヴァン大学教授）“From the Viewpoints of Women in Developing Countries”「開発途上国の女性の視点から」

通訳：辻 信子



## 11月12日(水) 月例研究会

ブイ・ティ・キム・クイ(ベトナム、社会学研究所女性学研究センター所長)「ベトナム ホーチミン市の縫製工場働く女性労働者たち」

解説: 織田由紀子

(アジア女性交流・研究フォーラム主任研究員)

## 11月20日(木) 月例研究会

バーバラ・トーマス・スレイター(クラーク大学教授)“Socio-Economic and Gender Analysis”  
「社会経済とジェンダー分析」

## 12月4日(木) 月例研究会

ダウン・H・キュリー(ブリティッシュコロンビア大学社会学部准教授兼女性とジェンダー研究センター所長)“Women's Studies and Gender Relations”「女性学とジェンダー研究」

平成10年

## 1月19日(月) 月例研究会

サスキア・エレノア・ヴィーリンハ(ジェンダー研究センター外国人客員教授・オランダ国立社会科学研究所教授)“Women's Movements and Public Policy in Europe, Latin America and the Caribbean”「ヨーロッパとラテンアメリカとカリブ地域における女性運動と公共政策」

## 3月5日(木) 月例研究会

朴 今玉(韓国中央日報社編集委員・ジェンダー研究センター外国人研究員)「女性新聞記者の地位と役割—韓日比較のために—」

## 3月19日(木) 月例研究会

松本(米田) 佐代子(山梨県立女子短期大学教授・ジェンダー研究センター公立大学研修員)  
「国民国家とジェンダー・アイデンティティー—日露戦争期のナショナリズムと女性をめぐる—」

## &lt;セミナー・ワークショップ&gt;

## 6月11日(水)～7月9日(水) 夜間セミナー(計5回)

フランス・オルセン「法研究はジェンダー研究に  
いかに貢献できるか? より広い法理解をめざして」  
(IV-2-3参照)

## 7月24日(木)～25日(金) ワークショップ2日間

フランス・オルセン「アカデミック・セクシュアル・ハラスメント: 学問研究機関における性的搾取  
の取り組み」(IV-2-3参照)

## 10月15日(水)～12月17日(水) 夜間セミナー(計6回)

ビーナ・プラダーン「ネパールにおける開発とジェンダー」(I-2-1参照)

## 平成10年3月24日(火)～25日(水) ワークショップ2日間

サスキア・エレノア・ヴィーリンハ「文化、アイデンティティ、セクシュアリティ—社会過程と開発との関連で—」(I-1-1参照)

## &lt;刊行物&gt;

①『ジェンダー研究—お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報—』第1号刊行(平成10年3月)

②お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊『大学教育とジェンダーII』(平成10年3月)

③たばこ総合研究センター／お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊『喫煙倫理とジェンダー』(平成10年3月)

④原 ひろ子(研究代表)文部省科学研究費研究成果報告書  
『科学研究費の環境に関する調査研究—男女比較を中心に—』(平成10年3月)

## 5. 研究指導・教育活動

## &lt;研究生&gt;(括弧内は在籍期間)

魚住みつ子 「母性とジェンダー」

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

中野裕美子 「『日本の経営』と『主婦』役割に関する研究」

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

サラ・ティズリー(カナダ)

「大正時代における生活文化の変化と女性身体像」

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

セーラ・フレデリック(アメリカ合衆国)

「1911～1932日本女性雑誌における近代と女性の関係の現われ方」

(平成9年10月1日～平成10年3月31日)

何 瑋(中華人民共和国)

「下田歌子の女子教育論の誕生と社会的展開の諸条件」

(平成9年4月1日～平成9年9月30日)

丁 銘(中華人民共和国)

「中国と日本の化粧品発展と女性の化粧意識の比較研究」

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

## &lt;学部出講・大学院担当&gt;

原 ひろ子

生活科学部 比較女性論(春学期)

家政学研究科 女性学特論／修士論文指導(通年)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻  
開発・ジェンダー論コース

比較ジェンダー開発論（春学期）

比較ジェンダー開発論演習（秋学期）

人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻  
女性学講座

比較ジェンダー論演習（1）（2）

館 かおる

文教育学部 社会教育特講Ⅰ（春学期）

生活科学部 女性社会史／ジェンダー論（秋学期）

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻  
開発・ジェンダー論コース

ジェンダー関係論（春学期）

ジェンダー関係論演習（秋学期）

人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻  
女性学講座

ジェンダー形成論演習（1）（2）

## 6. 文献・資料収集／情報提供／閲覧

### ＜収集資料点数＞

平成9年4月から平成10年3月までに収集した資料は和漢書単行本359冊、洋書単行本86冊、その他雑誌・パンフレットなど多数。

### ＜主要収集資料＞

ジェンダーとセクシュアリティに関する文献・資料／ネパール・タイの女性に関する文献・資料／開発とジェンダー教育に関する文献・資料／女性と自然科学者に関する文献・資料／リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する文献・資料／アジアの女性政策と開発に関する文献・資料／女性とたばこをめぐる関係資料／韓国的女子中等教育に関する資料／韓国の女性政策に関する資料

### ＜資料提供＞

○平成9年6月 日本テレビ「おもいっきりテレビ」に使用するため、明治8年頃の東京女子師範学校の外観写真1葉を提供。

○平成9年11月 すみだ郷土文化資料館（仮称）のコンピュータシステムの画像に輸入のため、荻野吟子卒業名簿のコピーを、すみだ郷土文化資料館に提供。

○平成10年2月 山梨県立青少年科学館（仮称）において常設の「21人の日本の学者たち」展に展示するために、株式会社フェイスに黒田チカ、保井コノ、湯浅年子の肖像写真各々1葉を提供。

○平成10年2月 日本テレビ「おもいっきりテレビ」に使用するため、明治14年頃の東京女子師範学校校舎の写真1葉を提供。

＜リファレンス・サービス、閲覧、貸出等＞

常時附属図書館情報サービス係・情報システム係で担当。

＜図書・資料寄贈＞（敬称略）

掲載は、和書：寄贈者名『書名』（著者名）、洋書：寄贈者名 書名（イタリック）（著者名）の順とした。

横浜市女性協会『女性問題キーワード111』（横浜市女性協会） 利谷信義『長寿社会を企画する』（藤井隆） 京都橘女子大学女性歴史研究所『伝えたい想い 枚方女性史』（京都橘女子大学女性歴史研究所） フランセス・オルセン『ロサーリオの死』（マイグル・アクセルソン） 阿武喜美子『瀬野信子名誉教授研究業績集Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻』（阿武喜美子他編） 上野千鶴子『キャンパス性差別事情』（上野千鶴子他編） 矢野ハギ『髪ひとすじ』（矢野ハギ） 信田さよ子『一卵性母娘な関係』（信田さよ子） 篠塚英子『女性と家族』（篠塚英子） アジア女性史国際シンポジウム実行委員会『アジア女性史』（アジア女性史国際シンポジウム実行委員会） 山田佐和子『百合樹の蔭に過ぎた日』（45回生西組一同） 浅倉むつ子『女性労働判例ガイド』（浅倉むつ子、今野久子） 館かおる『女性がつくる家族女性学研究4号』（女性学研究会編） 寺田鎮子『20世紀：ある小路にて』（シャイレンドラ・サーカル、カシナート・タモト編） 勝方恵子『差異に生きる姉妹たち』（ヴィッキー・ルイス他編） 江原絢子『高等女学校における食物教育の形成と展開』（江原絢子） 女性のためのアジア平和国民基金『慰安婦 関係文献目録』（女性のためのアジア平和国民基金編） 長崎県立大学『ケガレとしての花嫁』（近藤直也） 翰林書房『総力討論 ジェンダーで読む「或る女」』（中山和子、江種満子編） 大空社『現代日本における女子教育研究の動向』（真橋美智子） 新曜社・村松泰子『メディアがつくるジェンダー』（村松泰子他編） エンゼル財団『暮らしの哲学としての「生活文化」』（松田義幸編） 東京女性財団『「ことば」に見る女性』（東京女性財団編著）、『都民女性の戦後50年』（東京女性財団編著） 松田久子『美しく立てり』（田中寿美子さんを偲ぶ会事務局編）、『津田塾理科・数学科50年のあゆみ』（50年史編集委員会） 大沢三奈子『黄色い髪』（干刈あがた）、『名残のコスモス』（干刈あがた）、『窓の下の方の川』（干刈あがた）、『樹下の家族』（干刈あがた）、『切ない30代に捧ぐ』（内館牧子）、『金子みすゞへの旅』（島田陽子）、『わたしと小鳥とすずと』（金子みすゞ）、『西色の戦記』（津村節子）、『看護形態機

能学』(菱沼典子) 米田佐代子『雲よ還れ』(米田ひさ),『新しい保育を求めて』(東京弁護士会・両性の平等に関する委員会編),『歴史に人権を刻んだ女たち』(米田佐代子他編),『おんなの昭和史 増補版』(永原和子, 米田佐代子) 原ひろ子『女性研究者』(女性研究者 愛知女性研究者の会20年のあゆみ編集委員会),『中小企業における女性管理職者等の登用の実態と問題点』(中小企業研究所),『あなたもシングル』(千野境子編著),『青少年問題読本 非行の追跡』(西尾示郎),『PERT 新しい仕事のまとめ方』(森竜雄),『日本輸送史』(日通総合研究所編),『現代の経営』正, 続(ピーター・ドラッカー),『目標管理による親方日の丸意識の払拭』(影山裕子),『憂論 日本は今なにを考えなすべきか』(松下幸之助, 盛田昭夫),『統一地方選挙の手引』(自治省選挙部編),『いま家族に何が起きているのか』(野々山久也他),『ドナ・マルガリータ・渡辺』(前山隆編著),『「ささえあい」の人間学』(森岡正博編著),『トーテムのすむ森』(大塚柳太郎),『交換日記』(本田和子),『現代家族の社会学』(石川実編),『社会の民俗』(赤田光男他編),『アメリカ消費者運動の50年』(リチャード・L・D・モース編),『女と男の時空』(山下悦子),『生活の経営』(臼井和恵編著),『響きあう女たち』(あだち女性学研究会編),『アジア読本 韓国』(伊藤重人),『子どもと生きる』(河合隼雄編),『家族の文化誌』(原ひろ子編),『先住民ミヘへの静かな変容』(黒田悦子),『生活情報論』(林雄二郎他編),『国民医療年鑑』(日本医師会編),『自給自足12ヶ月』(明峯哲夫, 明峯惇子),『現代の経済と消費生活』(慶応義塾大学経済学部編),『危機の20年』(E・H・カー),『花嫁はモンペ』(婦人コミュニティ会議),『気になるアメリカ雑誌』(加賀山弘),『近代日本女性史への証言』(『歴史評論』編集部編),『明治女性史上, 中巻前篇, 中巻後篇』(村上信彦),『江戸女豆事典』(田井友季子),『江戸女人物事典』(田井友季子),『幕末・明治 女の事件簿』(田井友季子),『ふるさとと女たち』(古庄ゆき子),『わたしの横浜』(郷静子),『周防の女たち』(島利栄子),『炭山に生きる』(堀添絹子),『日本女性史』(脇田晴子他編),『六枚の肖像画』(美尾浩子),『日本女性史1巻〜5巻』(女性史総合研究会編),『静岡おんな百年 上下』(市原正恵),『未来を紡ぐ女たち』(林郁),『良妻賢母という規範』(小山静子),『わが町・浦安』(小林トミ),『日本史にみる女の愛と生き方』(永井路子),『ヒメの民俗学』(宮田登),『祖母, わたしの明治』(志賀かう子),『日本古代婚姻史の研究 上下』(関口裕子),『母たちの肖像』(松永伍一),『雪華の刻をきぎむ』(新潟女性史クラブ),『明治期家庭生活の研究』(中部家庭経営学研究会),『地ぶき花ゆら』(高橋揆一郎),『女性が自由を選ぶとき』(ジゼール・アリミ),『幕末明治女百話』(篠田鑑造),『講座現代・女の一生2』(天野正子他),

『紅と紺と』(林屋辰三郎編),『母親たちの自分史』(わいふ編集部編),『愛の目録』(尾崎秀樹, 尾崎恵子),『わが道』(藤田たき),『母が泣いた日』(玉井義臣),『母の台所 娘のキッチン』(藤原房子),『あざやかな女たち』(佐田智子),『オス・メスから男・女への歴史』(岩田好宏),『女が自分と向きあうとき』(吉武輝子),『おんなの性』(吉武輝子),『おんなの近代史』(大谷晃一),『地底の青春』(真尾悦子),『日本女性生活史1』(女性史総合研究会編),『ちさ・女の歴史1〜5』(早船ちよ),『母たちの時代』(長田かな子),『現代母親考』(島雪子),『夜と朝の手紙』(津島佑子),『女が自分をみつめるとき』(久保克児),『江戸の小さな神々』(宮田登),『二度わらべの母と生きる』(中島誠),『恋を駆ける女性』(サンドラ・ホックマン),『女は世界を救えるか』(上野千鶴子),『こころの処方箋』(河合隼雄),『独りを恐れず』(丸岡秀子),『埋葬を許さず』(丸岡秀子),『女のいい分』(丸岡秀子編),『鍛冶屋の母』(谷川健一),『母のあしあと』(種岡敏子他),『女のはたらき』(もろさわようこ編),『加賀の工芸』(高橋勇),『結婚すべきか』(富岡多恵子他),『おんなと母のあいだ』(小林佐智子他),『そして, おんなは・・・』(多田道太郎他),『わたしのあしあと』(柴野和子他),『いずみのほとりに』(一粒のひまわりの種編),『家族史研究3』(『家族史研究』編集委員会),『ふおん・しいはるとの娘 上中下』(吉村昭),『歴史をさがせた夫婦たち 外国篇』(永井路子),『歴史をさがせた女たち 外国篇』(永井路子),『歴史をさがせた女たち 日本篇』(永井路子),『歴史をさがせた女たち 庶民篇』(永井路子),『祖母・母・娘の時代』(鹿野政直他),『伝習館・複数の母たち』(柳下村塾経営委員会編),『光ほのかなれども』(上笙一郎, 山崎朋子),『女性むかしむかし』(牧田茂他編),『近代日本女性史 上下』(米田佐代子),『ひとり暮らしの戦後史』(塩沢美代子他),『女たちが変えるアメリカ』(ホーン川嶋瑤子),『伝統文化と女性達』(小栗純子他),『女性の生き方』(安西篤子他),『魔女狩り』(森島恒雄),『女性の英語』(南和子),『新版日本女性史』(井上清),『現代日本女性史』(井上清),『明治女性史1〜4』(村上信彦),『事件』(大岡昇平),『その橋まで 上下』(水上勉),『女性教師論』(深谷昌志),『女性の権利』(ネー・バンサドン),『悪女の法律』(和久峻三),『ツアラトウストラ』(永上英廣他),『家父長制と資本制』(上野千鶴子),『主婦論争を読む1』(上野千鶴子),『女性が科学をみつめるとき』(生活科学研究所編),『燃えて尽きたし』(斎藤茂男編),『科学史から消された女性たち』(ロンダ・シーベインガー),『遥かなるボストン』(小西章子),『世界の女たちはいま』(柴山恵美子編著),『近代を生きる女たち』(川越修他編),『ふたつの文化の間で』(広中和歌子),『ふたつの文化のはざまから』(加藤シヅエ),『フェミニズム論争』(江原

由美子編),『イーグルウーマン』(リン・アンドルーズ),『メ  
 デイション・ウーマン』(リン・アンドルーズ),『ジャガー・  
 ウーマン』(リン・アンドルーズ),『エデンは北か』(川崎則  
 子),『湯浅年子ノバリに生きて』(山崎美和恵編),『ドイツ  
 婦人の家庭学』(八木あき子),『新約聖書の女性観』(荒井  
 献),『娘と母のハイデルベルグ』(高橋叡子),『バンコクの  
 妻と娘』(近藤紘一),『セーヌ左岸そだち』(フランソワ  
 ズ・モレシャン),『主婦が歩きだすとき』(高橋ますみ),『女  
 が定年を迎えるとき』(佐藤洋子),『主婦が輝くとき』(富士  
 谷あつ子),『主婦とおんな』(国立市民会館市民大学セミ  
 ナーの記録),『主婦ブルース』(目黒依子),『仕事』(スタッ  
 ズ・ターケル),『40代はややこ思惟 いそが思惟』(干刈あ  
 がた),『キャリア・ウーマン』(マーガレット・ヘニング  
 他),『貧困と人間開発』(広野良吉他監修),『七十七人の侍  
 アメリカへ行く』(服部逸郎),『エスニック・アメリカ』(明  
 石紀雄他),『朝子ニューヨークへ翔ぶ』(東畑朝子),『母と  
 娘の関係 下』(ナンシー・フライデー),『ソーシャルステ  
 イタスの社会心理学』(山本真理子編),『現代ヤングレディ  
 考』(菅原真理子),『新 中国の女性たち』(西園寺雪江),『ア  
 メリカ大衆文化』(本間長世編),『アメリカの家族』(NHK  
 取材班),『江崎玲於奈一家のアメリカ日記』(江崎真佐子),  
 『ハワイの辛抱人』(前山隆編著),『いま家庭で』(メア  
 リー・J・ペイン),『女性研究者の可能性をさぐる』  
 (JAICOWS 編)

中野卓 *Makiko's Diary* (Makiko Nakano, et al.), Frances E.  
 Olsen *Feminist Legal Theory 1, 2* (Frances E. Olsen), Barbara  
 Thomas-Slaytar *Power, Process and Participation* (Barbara  
 Thomas-Slaytar), *Gender, Environment and Development in  
 Kenya* (Barbara Thomas-Slaytar), *Feminist Political Ecology*  
 (Barbara Thomas-Slaytar) 生活文化研究会 *Radically  
 Speaking* (Diana Bell & Renate Klein, eds.), *Feminist  
 Contentions* (Seyla Benhabid), *Feminist and The Power of  
 Low* (Carol Smart), *Gender & Technology in The Making*  
 (Cynthia Cockburn & Susan Ormrod), *The Economics of  
 Gender* (Joyce P. Jacobson), *Solidarity of Strangers* (Jodi  
 Dean), *Planning Development with Women* (Kate Young),  
*Living with Contradictions* (Alison M. Jaggar, ed.), *Bridges of  
 Power* (Lisa Albrecht & Rose M. Brewer, eds.), *Confronting  
 State, Capital and Patriarchy* (Amrita Chhachhi, ed.), *The  
 Strategic Silence* (Isabella Bakker, ed.), *Dignity and Daily  
 Bread* (Sheila Rowbotham), *The New Untouchables* (Nigel  
 Harris), *Engendering Wealth and Well-Being* (Rae Lesser  
 Blumberg, ed.), *Women's Rights Human Rights* (Julie Paters,  
 ed.), *Global Gender Issues* (Spike Peterson, et al.), *Gender,*

*Economic Growth and Poverty* (Noeleen Heyzer, ed.), *Women  
 and Politics World Wide* (Barbara J. Nelson, ed.), *Women's  
 Work in East & West* (Norman Stockman, et al.), *Social  
 Postmodernism* (Linda Nicholson, ed.), *Feminism, Objectivity &  
 Economics* (Julie A. Nelson) 原ひろ子 *Gender-Scientive  
 Participatory Approach in Technical Co-operation* (Brigit  
 Kerstan), *Songs My Mother Taught Me* (Wakako Yamauchi),  
*Women's Studies International* (Aruna Rao, ed.), *Japanese  
 Women* (Kumiko Fujimura Fanselow, ed.), *A Rising Public  
 Voice* (Alide Brill, ed.), *Motherhood by Choice* (Perdita  
 Huston), *Portraits of Chinese Women in Revolution* (Agnes  
 Smedley), *Seed 2* (Ann Leonard, ed.), *Sultana's Dream*  
 (Roushan Jahan), *Women of Color and the Multicultural  
 Curriculum* (Liza Fiol-Matta, ed.), *Challenging Racism &  
 Sexism* (Ethel Tobach, ed.), *Challenges for Women* (Chung Sei-  
 Wha, ed.), *Female of the Species* (M. Kay Martin & Barbara  
 Voorhies), *Women: a bibliography on their education & careers*  
 (Helen S. Astin), *Toward a Feminist Theory of the State*  
 (Catharine A. Mackinnon), *The Sceptical Feminist* (Janet  
 Radcliffe Richards), *Feminism and Socialism in China*  
 (Elisabeth Croll), *Female Revolt* (Janet Soltzman Chafetz, et  
 al.), *Women Under Communism* (Barbara Wolf Jancar), *Beyond  
 Separate Spheres* (Rosalind Rosenberg), *Toward a Sociology of  
 Women* (Constantine Safilions-Rothschild), *Family Planning in  
 Japanese Society* (Samuel Coleman), *Women in Perspective*  
 (Sue-Ellen Jacobs), *Women in Changing Japan* (Joyce Lebra,  
 ed.), *The Japanese Women* (Sumiko Iwao), *Women's Realities,  
 Women's Choices* (Florence Penmark, et al.), *Rethinking  
 Women's Roles* (Denise O'Brien, ed.), *Japanese Women* (Takie  
 Sugiyama Lebra), *Who's Who and Where in Women's Studies*  
 (Tamar Berkowitz, ed.), *Feminism and Anthropology*  
 (Henrietta L. Moore), *Women in the Workplace* (Kathryn M.  
 Borman, ed.), *Women Work and Values* (Zarina Rahman  
 Khan), *The Fifty Percent* (Salma Khan), *Women and Social  
 Change in India* (Jana Matson Everett), *The One-Straw  
 Revolution* (Masanobu Fukuoka), *A Lesser Life* (Sylvia Ann  
 Hewlett), *Political Women in Japan* (Susan J. Pharr), *Sexual  
 Stratification* (Alice Schlegel, ed.), *Middletown in Transition*  
 (Robert S. Lynd, Helen Merrell Lynd), *The Women of  
 Suyemura* (Robert J. Smith, Ella Lury Wiswell), *Women's  
 Rights* (Anna Coote, et al.), *The Woman in America* (Robert  
 Jay Lifton, ed.), *Women of the Forest* (Yolanda Murphy,  
 Robert Murphy), *Changing Women in a Changing Society*  
 (Joan Huber, ed.), *A Feminist Perspective in the Academy*  
 (Elizabeth Langland, ed.), *Bridewealth and Dowry* (Jack

Goody, S. T. Tambiah), *Women's Informal Associations in Developing Countries* (Kathryn March), *Jan Ken Po* (Dennis M. Ogawa), *How To Save Your Own Life* (Erica Jong) Helene Sylverberg *Abortion & the Politics of Motherhood* (Kristin Luker) *Daring to Be Bad* (Alice Echoles), *The Reproduction of Mothering* (Nancy Chodorow), *Feminist Theory* (Nannerl Keohane, Michelle Rosaldo, Barbara Gelpi), *Feminist Theory in Practice and Process* (Micheline Malson, et al.), *How Women Legislate* (Sue Thomas), *Women, War and Revolution* (Carol Berkin, Clara Lovett), *The Sexual Contract* (Elenor Flexner), *Constitutional Inequality* (Gilbert Steiner), *Modern Sexism* (Nijole Benokraitis, Joe Feagin), *Sacred Bond* (Phyllis Chesler), *Maternity and Gender Policies* (Gisela Bock, Pat Thane, eds.), *Abortion and American Politics, Woman's Body, Woman's Right* (Linda Gordon), *At Odds* (Carl Degler), *The Obsession* (Kim Chernin), *Everyone Was Brave* (William L. O'Neill), *The Elizabeth Cady Stanton* (Susan B. Anthony, et al.), *What Women Want* (Gayle Graham Yates), *The American Woman* (William H. Chafe), *Up From the Pedestal* (Aileen Kraditor, ed.), *Birth power* (Carmel Shalev), *When and Where I Enter* (Paula Giddings), *Against Our Will* (Susan Brownmiller), *The Feminine Mystique* (Betty Friedan), *Another Voice* (Marcia Millman, et al.), *Sexual Politics* (Kate Millett), *A Different Voice* (Carol Gilligan), *The Lowell Offering* (Benita Eisler, ed.), *The Economic Emergence of Women* (Barbara Bergmann), *Women & Equality* (William Chafe), *Feminist Challenges* (Carol Pateman, et al.), *Liberating Women's History* (Berenice Carroll), *Women & Public Policy* (M. Margaret Conway, et al.), *Democracy and the Welfare State* (Amy Gutmann, ed.), *Gender Justice* (David L. Kirp, Mark Yudof, Marlene Strongks)

<来館・閲覧者> (抄) (敬称略、表記は記名による)

平成9年4月3日 何瑋 (北京日本学研究会センター), 4月9日 ウピック・タムリン, 4月28日 米澤正雄 (実践女子大学教授), 5月15日 (大阪府立大学経済学研究科), 5月20日 伊集院絹子 (株式会社太陽企画出版), 6月10日 南ちよみ, 6月13日 坂本嘉章, 6月16日 外山由紀江 (笹川平和財団), 6月25日 磯部彩 (獨協大学), グッドチャイルド・ロビン (獨協大学), 武田宏子 (立教大学大学院), 7月7日 増田十和子 (ワシントン州立大学大学院), 7月11日 イルゼ・レンツ, 7月22日 久木野友 (東京学芸大学4年生), 7月25日 小林花, 7月30日 小野美智代 (同志社女子大学4年), 8月6日 プリンドル玉枝 (Colby College), 池田春子 (岩波書店編集部), 8月11日 木寺博子 (十文字

学園女子短期大学), 8月18日 渋谷美穂 (女子栄養大学大学院), 石川真理子 (女子栄養大学大学院), 8月19日 船橋周, 松野菜穂子 (勁草書房), 8月20日 中村律子 (コーネル大学大学院), 8月26日 クリーゼル (デュッセルドルフ大学), 8月27日 光部俊美, 9月1日 武藤洋美 (日本大学大学院), 9月2日 井上幸子 (翻訳業), クリーゼル・コーネリア (デュッセルドルフ大学助手), 9月3日 吉田恵美子 (大阪府立大学), 9月8日 金居真希 (京都精華大学), 小林利子 (イメージファクトリー), 宮島桂子 (東京大学), 9月10日 Ann Britt Mossberg, Ulla Sunden, Jene Olsen, 9月24日 船野綾子 (大坂府立大学), 10月2日 今井康雄 (東京都立大学助教授), 米田美智子 (金沢経済大学), Dominic Orr (Technische Universität), Dureen Edlich (MA Erziehungswissenschaft), Katharina Gerber, Barbara Drinck (Universität Berlin), Dietmar Waterkamp (Technische Universität), 10月8日 北島直美 (松竹), 10月13日 藤原千沙 (東京大学大学院), 10月16日 角津栄一 (朝日新聞), 10月17日 槇英男 (パソコンコンサルティング顧問), 小村陽子, 小林達, 安田房子, 矢野誠治 (立巳物産株式会社), 野本怜子, 紺田隆弥, 田中孝子, 板橋寛二, 栗林得夫 (栗原工業), 高月優子, 松本一乃, 野中康子, 佐川公博, 10月23日 ファンユニール (武蔵大学大学院), 10月27日 松田篤子, 10月29日 柳蓮淑 (東京学芸大学大学院), 高橋絹代 (桜美林大学非常勤講師), 10月31日 佐藤 (佐久間) りか (プリンストン大学大学院), 松島紀子 (城西国際大学大学院), 栗崎朋子 (城西国際大学大学院), 11月12日 秋葉亜子, 11月12日 Bui Thi Kim Quy (Director, Center for Women's Studies Institute of Social Sciences in Ho CHI Minh City), 11月16日 プレヒンガー・ヘレーナ (ドイツー日本研究所), 11月25日 Eriko Aoki (Suzuka International University), Ananda Kumara (Suzuka International University), Julianne Belbin-Sakuma (Columbia University), 12月18日 渡辺美恵子 (國學院大学), 12月19日 小山志津子 (カリフォルニア大学大学院), 平成10年1月19日 笹川あゆみ (オックスフォード・ブルックス大学大学院), 1月26日 Giron Noriega, Carlos Abilio (グアテマラ地域教育指導部地域長官), Rivera Gracia, Humberto (グアテマラ地域教育指導部地域長官), Cermeno Guerra, Hector Antonio (グアテマラ地域教育指導部地域長官), Simon Sucuc, Jose Arnulfo (グアテマラ二言語併用教育局教育課程企画部長), Batz De Tzul, Virginia Tacam (グアテマラ二言語併用教育局教育課程企画部長), Franco De Leon, Miguel Angel (グアテマラ地域教育指導部地域訓練コーディネーター), Alfaro Perez, Francisco Oswaldo (グアテマラ地域教育指導部指導技術教官), Tavico

Solloy De Cay, Estela (グアテマラ二言語併用地域教育局調査評価官), Samayoa Alvarez, Julio Cesar (グアテマラ教育局地域訓練コーディネーター), Rouanet Guzman De Nunez, Rina Patricia (グアテマラ地域教育局地域訓練コーディネーター), Cortez Sic, Jose Enrique (グアテマラ人的資源教育課程企画強化全国組織), Cabarrus De Franco, Julia Mireya Poggio (グアテマラ地域教育局), Diaz Sales, Baudilio (グアテマラ地域教育局), Vielman Reyes, Leonel Orlando (グアテマラ教育局), 1月29日 萩原 範子 (西オーストラリア大学大学院), 2月4日 ディナ・ロイ (ラトガズ大学), 2月5日 シャハナ (バングラデシュ初等教育局事務局長), クイ (カンボジア教育・青少年・スポーツ省企画調整係所轄教育管理情報システム・センター所長), ヌカンチョア (カメルーン社会福祉・女性省女性局長), リンダ (グアテマラ教育省国内協力局コーディネーター), ヌルサーダ (インドネシア技術・職業教育局刊行教育人材開発係長), ロゼリン (ケニア教育省ナンザ地区教育長), アリス (マラウイ女性・青少年・地球振興省プログラム・オフィサー), ダウ (ミャンマー教育研究局上級教育研究官), キン (歯科大学解剖学科長), マリア (ナウル南太平洋大学センター長), マイラガ (パキスタン教育省教育副アドバイザー), ネスタ (タンザニア教育文化省教育委員長補佐), セコウエ (コートジボアール統計評価計画局調査官), 油原 ゆう子 (国立婦人教育会館情報交流専門職員), 2月17日 高橋由紀 (民族学振興会), 3月3日 大塚 浩介, 3月5日 柳蓮淑 (東京学芸大学大学院), 3月17日 磯部美良 (愛知淑徳大学)